事例No.	1693
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	静岡県浜松市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・（行政改革）業務の効率化 ・クラウド

事例種類	DX

事例内容・タイトル

クラウドサービスを活用した情報システム再構築事業

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【静岡県浜松市】
クラウドサービスを活用した情報システム再構築事業

DX　水道事業・下水道事業

静岡県浜松市上下水道部上下水道総務課

● 取組の概要

GIS、施設管理、料金調定等の部内の情報システムについて最適化に向けた基本方針を定め、それに沿った再構築を行った。

◆総事業費　54,670千円（クラウド）、163,020千円（GIS）、18,700千円（施設管理）、769,670千円（料金調定）、その他毎年利用料や運用保守費用有

◆背景

- 従来のシステムは、独自のカスタマイズ部分が多く、システム改修経費の高騰や管理の煩雑化、ベンダロックイン等が課題となっていた。
- 「浜松市デジタルファースト宣言」（令和元年10月）に基づき、最適化に向けての基本方針を定め、それに沿ったシステム再構築を行った。

◆具体的内容

- 導入費用削減のためパッケージシステムの導入を原則とし、カスタマイズは必要最小限とした。
- 情報の一元化・円滑なデータ連携のため、複数システムを包括調達しつつ、上下水道部共通の情報基盤を新設した上で、各システムを収容した。
- 災害対策やセキュリティ強化を重視し、クラウド型システムとした。

◆効果

- パッケージシステムの導入、複数システムの包括調達等により、経費が削減された。
- クラウド型システムの導入により、災害対策・サイバーセキュリティを強化し、データ消失・流出等のリスクが軽減された。
- 各情報システム共通の情報基盤への一括収容により、管理の容易性が向上した。
- タブレット端末の導入により現場での情報確認が容易になり、業務が効率化した。

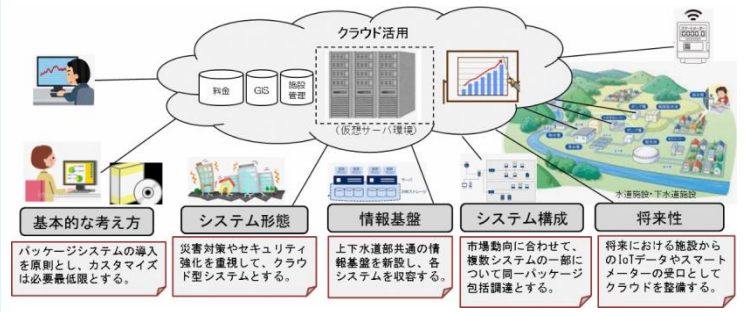
● 取組のポイント

- 情報システムを再構築するため、事前にシステム事業者による情報提供依頼（RFI）による調査・分析を実施した。
- 民間クラウドサービスの導入により、主に次の効果があった。
  ① 機器リース満了に伴う約5年毎に発生する更新サイクルからの脱却
  ② 常に最新のセキュリティ対策が講じられるためサイバーセキュリティ対策の向上
  ③ 当市被災時におけるデータ消失リスクの低減

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　795,771人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　1558.06km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　767,400人（令和3年度決算）
- 処理区内人口　646,071人（令和3年度決算）

クラウド活用イメージ



● 取組のスケジュール

- 令和元年11月に調査・検討を開始し、令和2年8月に基本方針作成。
- 令和3年3月から構築を開始し、令和3年12月からクラウドで部共通情報基盤の運用開始。
- 以降、順次システム（GIS、施設管理、料金調定）の稼働。

● 今後の展望

- IoT機器やスマートメーター等を導入し、データ連携の検討を進めていく。
- 集約したデータをAI等により解析し、持続可能な事業運営のために活用する。